

佐々(さざ)町立図書館

図書館だより

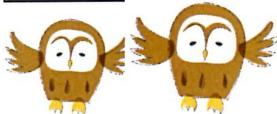


平成30年6月号



第48号

TEL(0956)
41-1800



6月と聞いて、何を思い浮かべますか。梅雨入りもすぐそこにやってきています。雨にたたずむ“紫陽花”いかがでしょう。万葉集にも詠まれるほど古くから知られる“紫陽花”、鎌倉時代にはすでに園芸化されていたとか。その涼しげな色合いは、現代の雑踏のなかでも落ち着きを与えるものですね。ロマンチックレイン、「本に出会い人に出会うところ、本のある広場」ゆったりとした空間の図書館へ出かけて、本の世界に浸ってみませんか。



☆5月6日(日)開催「としょかんこどもまつり」

あいにくの雨となりましたが、午前中は、場所を学習コーナーに移し、生きがいと創造の家・木彫クラブのみなさんによる「伝承遊び」と、職員による「ペットボトル風車コーナー」がありました。親子で竹ぼっくりに挑戦したり、竹とんぼの作り方を習ったり、風車の飾りつけを楽しまれました。

お話の部屋では、図書ボランティアの会『バンビグループ』のみなさんによる「わくわくおはなし会」がありました。盛りだくさんの内容で、素敵なお話の世界に浸っていたようです。

「モコちゃんの佐々川ぼうけん」の絵本には、小さい子も聞き入っていました。

午後から学習コーナーでは、中村比呂美さんによる「工作ひろば」がありました。牛乳パックを使って、かわいいパックとんぼができあがりました。

ご協力いただいた地域のみなさん、ありがとうございました。

・4月の利用状況 貸出冊数:11,172冊 入館者数:8,998人



■は休館日 *は読み聞かせ ◎佐々っ子土曜学習プログラム

6月の図書館カレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2*
3	4	5*	6	7*	8	9*
◎10	11	12	13	14*	15	16*
17	18	19	20	21*	22	23*
24	25	26	27	28*	29	30

5月6日(日)開催
「としょかんこどもまつり」での様子





今月も新しい本が入りました!! 他にもたくさん入荷しています。
お探しの本がありましたら、お気軽に職員へお尋ねください。

《一般書》

○そして、バトンは渡された／瀬尾 まいこ 著／文藝春秋

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていたー。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

○90秒にかけた男／高田 明 著／木ノ内 敏久 聞き手／日本経済新聞出版社

長崎のカメラ店主だった高田明は、なぜ最短90秒という枠の中で、自らメッセージを発信し続けてきたのか? わずか10年ほどで「TV通販王」として一世を風靡し、通販の常識をくつがえしてきた、その経営の神髄を伝える。

《児童書》

○ぼくのドラゴン／おの りえん 作／森 環 絵／理論社

その村では赤ちゃんはみな、ドラゴンの卵をにぎって生まれてくる。その卵からかえったドラゴンが、赤ちゃんの一生の「あいぼう」になるのだ。少年アオバとドラゴン・アオの成長の物語。

○ぼくのパパは一本足／フランチェスコ・メニケッラ 著／飯田 亮介 訳／PHP研究所

トーマスのパパは、子どもの頃に左足を失くしたけれど、大きくなってからパラサイクリングのチャンピオンになった。トーマスは、パパの物語を書こうとするが、パパの古い白黒写真の世界にタイムスリップしてしまい…。



《絵本》

○母ぐま子ぐま／椋 城十 作／村上 康成 絵／理論社



風が犬のにおいを運んできました。そのにおいが、どんなに危険であるかということをよく知っているおかあさんぐまは、2匹の子ぐまをせきたてて走りはじめましたが…。

気鋭の画家の絵で味わう、椋城十の絵本。

○きつねうどんたぬきうどん／古内 ヨシ さく／大日本図書

うどんが大好きな、きつねくんとたぬきくん。きつねくんは「きつねうどんがいちばん!」と言い、たぬきくんは「たぬきうどんがいちばん!」と言い、どっちがおいしいかで、けんかになってしまい…。

(©T R C)

● 今月の特設コーナーのご案内 ●



カウンター前：「はじまるよ！本のカーニバル」



カウンター横：春らんらん「新生活応援」フェア

学習コーナー前：一緒に歩こう！「子育て応援」フェア

*** 特設コーナーの本も貸出ができますので、ご利用ください ***